

令和4年度学校関係者評価委員 報告書

令和4年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

1. 学校関係者評価委員 敬称略

河野文夫 学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長

本 尚美 公益社団法人熊本県看護協会 会長

木村浩美 社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長

村田 守 一新校区第六町内自治会 顧問

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

開催日：令和5年3月17日（金）

3. 出席者 敬称略

河野文夫 学校法人立志学園九州中央リハビリテーション学院 学院長

本 尚美 公益社団法人熊本県看護協会 会長

木村浩美 社会医療法人寿量会 ホームケアサポートセンター副センター長

村田 守 一新校区第六町内自治会 顧問

4. 評価項目

1) 重点目標

2) 教育理念

3) 学校運営

4) 教育活動

5) 学修成果

6) 学生支援

7) 教育環境

8) 学生受入れ募集

9) 法令等遵守

10) 社会貢献・地域貢献

I. 重点目標に対する学校関係者評価委員による評価

1. 教育活動について

学生に寄り添った教育ができています。超過勤務の削減やペーパーレスの取り組みなど経営努力がなされています。その上で、教育の質の維持向上に努めることができています。

新カリキュラム導入1年目だったが、地域との交流を組み込んだ教育など教授方法の工夫がされている。地域を意識した教育活動の実践により、県内で活躍できる看護師の育成にもつながっている。

前年度と比較し、コミュニケーションやICT教育など新たな取り組みができるようになっている。

2. 学習成果について

九州グループの5校が参加し、オンライン上で臨床判断に関する合同授業の実施など、新たな取り組みができています。授業内容の工夫により充実した教育につながっている。

3. 学生支援について

進路支援は1年次から段階的に関わり、学生への支援が強化されている。

学生の意見から、複数の講師が担当する科目は単元の担当について学生にわかりやすく提示できるよう工夫する必要がある。

4. 教育環境について

図書室の環境改善や母体病院の学食の利用など、学生の満足度は高い。更衣室の狭さは改築し改善を図っているが、学生数の増加もあり継続した課題である。情報科学室のパソコンのアップデート対応など、ICT関連の整備は継続していく必要がある。

5. 学生の受け入れ募集について

在校生からの魅力が発信できるような広報活動の取り組みがされている。

6. 社会貢献・地域貢献について

地域交流が積極的にできるようなカリキュラムになっている。核家族が多く、高齢者と話をする機会が少ないため、継続して地域交流を深めていることを期待している。

コロナ対応の緩和もあり、次年度はボランティア活動なども積極的に実施できるよう取り組んでほしい。

II. 専門学校の評価指標を活用した質問紙による評価結果

評価項目		平均
教育理念に関する評価	1. 教育理念、教育目的・卒業時の人材像・学校の特色が明記され、学生や保護者に周知されているか。	4.0
	2. 教育目標、卒業時の人材像は医療の動向や社会のニーズに向けて方向付けられているか。	4.0
学校運営に関する評価	3. 病院全体の目的に沿った運営方針が策定され、その運営方針に沿って事業計画が策定されているか。	4.0
	4. 意思決定機能は規則等において明確にされているか。	4.0
	5. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4.0
教育活動	6. 教育理念、教育目的、卒業時の人材像を踏まえて教育計画を立案し、教育計画に則って実施し、評価、改善を行っているか。	4.0
	7. 社会のニーズや医療の動向を踏まえて教育内容を改善し、学生が主体的に学ぶことができるように教育方法の改善や教育の資質の向上のための取り組みを行っているか。	4.0
学習成果	8. 就職率、看護師国家試験合格率の向上が図れているか。	3.8
	9. 卒業率の向上が図れているか。	3.8
	10. 卒業後のキャリア形成の効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか。	3.8
学生支援	11. 就職・進学に関する支援体制は整備されているか。	3.8
	12. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.8
	13. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.8
教育環境	14. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3.8
	15. 学生が学校生活を快適に過ごせるように整備されているか。	3.5
学生の受け入れ募集	16. 学生募集は適正に行われているか。	3.8
	17. 学生募集活動は適切に行われており、その効果を評価しているか。	3.8
法令遵守	18. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.8
	19. 個人情報保護のための対策がとられているか。	3.8
	20. 自己点検・自己評価を実施し、その結果を公表しているか。	3.8
	21. 学校関係者評価を年に1回以上実施し、その結果を公表しているか。	3.8
社会貢献・地域貢献	22. 地域に対する公開講座・研修等の受託を積極的に実施しているか。	3.8
	23. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.5

評価基準：4. 適切である 3. まあまあ適切である 2. 適切とまでは言えない 1. 適切ではない

Ⅲ. 総括

今後の課題について以下の4点が挙げられた。

1. コミュニケーション能力の向上に向けた教育や、ICTを活用した教育の充実を図る。
2. 担当講師の明示により、計画的な授業準備と学習計画の立案できるよう支援する。
3. 教材や教育環境の改善に向けた取り組みを継続する。
4. 地域交流ができる教育内容の充実や、ボランティア活動による社会貢献ができるよう支援する。
5. 卒業生の活動状況を収集し、結果を教育活動へフィードバックし改善をはかる。